

第3回 湯沢市行財政改革推進計画策定委員会

日 時： 令和3年1月19日（火）午前10時

場 所： 湯沢市役所本庁舎4階 会議室44

次 第

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 議 事

(1) 答申（案）について

4. その他

5. 閉 会

湯沢市行財政改革推進計画策定委員会 委員名簿

No	委員 区分	氏 名	地域	性別	備 考
1	学識	佐貫 友洋	湯沢	男	委員長
2	学識	京野 楽弥子	湯沢	女	
3	学識	高橋 みどり	稲川	女	
4	学識	高嶋 江美子	雄勝	女	副委員長
5	学識	藤原 敦志	皆瀬	男	
6	公募	小松 和利	湯沢	男	

湯沢市経営戦略（素案）における主な意見

【基本方針Ⅰ：地域経営マネジメント】

- ① 講座や人材の情報が地域の人たちに伝わってこない。講座の参加者を増やすことは良いが、実際に活動する人達への周知や情報の伝わりが見えないため、もっと情報が伝わるよう今まで以上に頑張してほしい。
- ② 地域の自治組織やボランティア団体への活動を支援する件について、実際には個人に役職が集中しており、新たな活動に取り組む余裕がない。できれば市から地域への指導役のような人的支援をする仕組みがあるといい。
- ③ 地域に住んでいる全員が同じように地域のことを考え行動していけば問題はないが、実際には温度差がある。また市役所から次々と要求があるため、自分達の事業も消化できない状態となっている。
- ④ 湯沢市の人口について、男女比の記載があれば分かりやすい。地域課題解決に向けた講座や団体について、どんな講座や団体なのか、参考として補足資料がほしい。
- ⑤ 指標である「情報発信の満足度」は市民満足度調査、つまり紙媒体のみの結果であるので、若年層向けへの SNS を利用したアンケートを行うなどの取組や、情報発信用の子育てアプリ等の開発も含めるとよいのではないかと。また、フェイスブックのフォロワー数の指標について、フェイスブックの利用実態から、目標値設定にはInstagramのフォロワー数やユーチューブの登録数等を入れてはどうか。
- ⑥ 人口減少に歯止めをかけることは中々難しい。市民一人ひとりの生産性を上昇させることが大切だと思う。例えば、農家の繁忙期に企業から人を派遣するなど、業種の枠を超えたダブルワークや副業を推進したらどうか。

【基本方針Ⅱ：公共施設マネジメント】

- ① 湯沢駅前に複合施設の建設が検討されているが、この位の負債があっても新しい施設を造っても大丈夫なのか。また、現在ある図書館などは、遊休施設としてその後どのように活用されることになるのか。
- ② 市で管理している橋梁や水道施設などのインフラ施設についても、公共施設同様に詳しいデータも加えてもいいのではないかと。

【基本方針Ⅲ:行政経営マネジメント】

- ① 今後の財政推移を見ると、湯沢市は大丈夫か心配になる。これから湯沢市を担っていく働き盛りの世代がきちんとした正職に就いていないのが問題ではないか。就業支援の機会を設けていかないと大変。
- ② 人口減少が今後も続いていく中で、現役世代を増やすための施策が必要でないか。職に就けない人に職を提供することや、県外や市外から湯沢市に転入を誘導できるような魅力や目玉を作ることができないか。
- ③ 労働人口の減少に伴って企業も人材確保に苦慮している。市内の伝統産業や飲食業でも後継者不足が目立ってきており、就職支援の一環として一定期間就業体験ができ、適性が図れるような仕組みがあればよいのではないか。
- ④ 歳出の抑制は、役所内である程度努力すれば達成できるが、歳入を増やすためには、職員が市民や民間と一緒に、歳入を増やすための企画や仕掛けにもっと取り組んでほしい。
- ⑤ 計画には今までも取り組んできたが、結果的にうまくいかなかったものもあるのではないか。次から次へと新しい事をやっても、何がダメだったのかしっかり検証することが大事。
- ⑥ 役所と民間の感覚では経費削減の意識が違うのでは。電気の節電やペーパーレスの推進など、細かいことでも配慮していけば支出を抑えられるのではないか。

【基本方針Ⅳ:リスクマネジメント】

- ① 指標の「新規に作成するマニュアル件数」が分かりづらい。作成していないマニュアルが何なのか参考で載せたほうが一般の人には分かりやすい。
- ② 今回豪雪における自衛隊の対応を見て、マニュアル整備の必要性を感じた。マニュアルは普段からの意識付けが必要であるため早急に整備してほしい。また、マニュアルが整備されていても職員に徹底していないと意味がないので、徹底を含めた目標として頑張してほしい。
- ③ 市民の安全とリスクを確保する意味で、今回の豪雪に限らず「困りごとの相談窓口」が分からない方が多いので、周知や広報が必要だと感じる。
- ④ 職員全員で共有できるような体制整備が必要だが、体制だけでなく職員一人ひとりが分かるようなマニュアルの作成は必要だろうと思う。

【その他】

- ① 専門的な用語が多く、市民目線でみれば用語集などの説明が欲しい。見る人の視点を意識した資料作りをお願いしたい。

(案)

令和3年1月 日

湯沢市長 鈴木俊夫様

湯沢市行財政改革推進計画策定委員会
委員長 佐貫友洋

湯沢市経営戦略(素案)について(答申)

令和2年12月25日付け、湯企第446号で諮問のありました「湯沢市経営戦略(素案)」について、慎重に審議した結果、原案は概ね妥当との結論に達しましたので、湯沢市行財政改革推進計画策定委員会条例第2条の規定に基づき答申します。

なお、本戦略の推進に当たっては、別紙のとおり努められるよう意見を附します。

別紙 湯沢市経営戦略（素案）に関する附帯意見

【基本方針Ⅰ：地域経営マネジメント】

- ・ 市が提供する情報が広く市民に提供されるよう、広報紙や SNS 等による情報発信の充実を検討されたい。
- ・ 地域への活動支援については、地域内の事情により個人に役職が集中する傾向があるため、市から活動を補佐する人的な支援を検討されたい。
- ・ 地域へお願いについては、市の窓口の一本化を検討されたい。

【基本方針Ⅱ：公共施設マネジメント】

- ・ 湯沢駅周辺複合施設を始めとする今後の公共施設整備にあたっては、厳しい財政状況を勘案し、できるだけコンパクトな施設づくりを心掛けるとともに、ランニングコストの縮減にも配慮されたい。
- ・ 移転・廃止後の跡施設（跡地）については、活用方針を速やかに検討されたい。

【基本方針Ⅲ：行政経営マネジメント】

- ・ 人口減少による税収の確保につなげるため、労働人口の確保や現役世代を増やすための取組を推進されたい。
- ・ 未就業者への就業支援として体験就職などや、市外から新しく現役世代が転入して来られるような取組を検討されたい。
- ・ 職員が市民や民間企業と連携し、歳入を増やしていく仕掛けを積極的に推進されたい。
- ・ 節電やペーパーレスの推進など細かい配慮による経費抑制が可能となるので、職員への意識付けを徹底されたい。

【基本方針Ⅳ：リスクマネジメント】

- ・ 危機管理におけるマニュアル整備は必須であるため、特に未作成のマニュアルについては早急に整備されたい。
- ・ マニュアルの作成については、対応にあたる職員全員で共有できるよう、分かりやすい内容整備を検討されたい。

委員会開催スケジュール

開催年月日	開始時間	場 所	項 目	内 容 (案)	備 考
令和2年12月25日 (金)	14:00	湯 沢 市 役 所 本 庁 舎	【4階】 会議室44	【第一回】行財政改革推進計画策定委員会 ◆委員長・副委員長の選任 ◆市長より諮問 ◆湯沢市経営戦略(素案)の審査①	
令和3年1月8日 (金)	10:00		【4階】 会議室44	【第二回】行財政改革推進計画策定委員会 ◆湯沢市経営戦略(素案)の審査②	
令和3年1月19日 (火)	10:00		【4階】 会議室44	【第三回】行財政改革推進計画策定委員会 ◆湯沢市経営戦略(素案)の審査③ ◆答申(案)について	
令和3年1月22日 (金)	13:00		【3階】 応接室	市長への答申 ◆市長への答申	委員長のみ出席